

『スウェーデンと日本における認知症グループ ホームの勤務スケジュールに関する実証的研究』(後半)

西 下 彰 俊

目 次

1. はじめに
2. スウェーデンのグループホームの勤務スケジュール
3. スウェーデンにおける介護スタッフの有給休暇に関わる問題 (以上前号)
4. 日本のグループホームの勤務スケジュール
5. スウェーデンと日本の日勤スケジュールに関する比較分析
6. 結論と今後の課題 (以上本号)

4. 日本のグループホームの勤務スケジュール

前号では、スウェーデンの5つのコミューンにおけるグループホームの勤務スケジュールを詳細に検討した。その結果、第1に、勤務スケジュールのあり方はコミューンにより異なること、第2に、「ジェットコースター・シフト」と筆者が名づけた勤務時間の著しい変動が多くのコミューンのグループホームで存在していることを知見として示すことができた。

本稿では、日本の4つの地域におけるグループホームの勤務スケジュールを詳細に検討し、どのような特徴が見られるのかを実証的に調査する。本稿で分析対象者とするグループホームは、近畿地方のAグループホーム、山陽地方のBグループホーム、東海地方のCグループホーム、同じく東海地方のDグループホームの4つである。

エーデル改革 (Ädelreformen) 以後、スウェーデンでは、グループホームもナーシングホームもまとめて「介護の付いた特別住宅」(särskilda

boendeformer=略称 SÄBO) と呼ばれている。グループホームではユニットケアが実践されている。そもそも日本のグループホームのシステムはスウェーデンのグループホームをモデルに構築されていることから、両者を比較することに調査設計上問題がないと考える。

(1) A グループホームの場合

表 16 から表 19 は、近畿地方にある A グループホーム (2000 年 4 月開設、平均介護度 2.4) の 2004 年 2 月 (4 週間分) の勤務スケジュールを示している。同グループホームには 2 つのユニットがあるが、この勤務スケジュールは、そのうちの 1 つのユニットのものである。表 16 は第 1 週、表 17 は第 2 週、表 18 は第 3 週、表 19 は第 4 週の勤務パターンを示している。このグループホームの専任介護スタッフは全部で 9 名 (あ〜け)、入居者は 9 名 (女性 8 名、男性 1 名) である (各居室の広さは 6 畳)。他に、夜勤専門非常勤スタッフ (6 名) がおり、そのうち 1 名がローテーションで夜勤につく。夜間の介護については、当該の夜勤専門非常勤スタッフ 1 名に加えて、A グループホームの常勤スタッフおよび併設されたもう一つのグループホーム (入居者 9 名、勤務スケジュールは省略) の常勤スタッフから隔日で 1 名が交代で夜勤に従事している。専任スタッフのうち、介護福祉士の有資格者 2 名 (他の国家資格も有する場合有り)、精神保健福祉士 1 名、ホームヘルパー 2 級 4 名、資格なしが 2 名である。夜勤専門非常勤スタッフ 6 名については、2 名がホームヘルパー 2 級、資格なしが 4 名であった。

表 20 は、9 名の介護スタッフの週あたり勤務時間を一覧できる形で示したものである。スウェーデンのグループホームで頻繁に見られた「ジェットコースター・シフト」は、A グループホームで 1 か所確認できるのみである。具体的には、介護スタッフ「お」について、第 2 週の 28 時間 45 分から第 3 週の 9 時間 30 分への激減が見られる。なお、フルタイム換算

表16 Aグループホームの勤務パターン (第1週)

	月	火	水	木	金	土	日
あ	0:00-8:30		8:00-17:00	8:00-17:00	11:45-20:45		
い		8:00-17:00	11:45-20:45		8:00-17:00	14:30-24:00	0:00-8:30
う	8:00-17:00	8:00-17:00		14:30-24:00	0:00-8:30		
え	11:45-20:45	14:30-24:00	0:00-8:30			8:00-17:00	11:45-20:45
お		16:00-20:45	16:00-20:45	8:00-17:00		8:00-17:00	16:00-20:45
か				7:00-12:00	16:00-20:45		8:00-17:00
き	7:00-12:00					7:00-12:00	7:00-12:00
く		7:00-12:00	7:00-12:00	16:00-20:45	7:00-12:00	16:00-20:45	
け	16:00-20:45						

(資料出所) Aグループホーム内部資料 (出典) 筆者作成

表17 Aグループホームの勤務パターン (第2週)

	月	火	水	木	金	土	日
あ	8:00-17:00				14:30-24:00	0:00-8:30	
い			8:00-17:00	8:00-17:00	8:00-17:00	11:45-20:45	
う	8:00-17:00	11:45-20:45	14:30-24:00	0:00-8:30			8:00-17:00
え	14:30-24:00	0:00-8:30		11:45-20:45	8:00-17:00		14:30-24:00
お		16:00-20:45	8:00-17:00	8:00-17:00			8:00-17:00
か	16:00-20:45	8:00-17:00		7:00-12:00		8:00-17:00	
き	7:00-12:00					7:00-12:00	7:00-12:00
く		7:00-12:00	7:00-12:00	16:00-20:45	7:00-12:00	16:00-20:45	
け			16:00-20:45		16:00-20:45		16:00-20:45

(資料出所) (出典) いずれも表16と同じ

で100%を超えるのは、9名中4名にとどまっている（フルタイムスタッフ占有率44.4%）。Aグループホームの場合、スウェーデンのグループホームと異なり、フルタイムワーカーの割合が比較的高い。

図13は、4週間の勤務スケジュール（表16から表19）のうちから任意に第1週を選び、平日の中から選んだ月曜日と週末の日曜日について、介護スタッフの人数が時間の経過によってどのように変化するかを图示したものである（図中のひらがなは表16の介護スタッフの仮名に対応）。この図から、時間帯により介護スタッフの数が明らかに変化していることが確認できる。図14が示すように、具体的には、第1週の月曜日については、0:00-7:00は1名、7:00-8:00は2名、8:00-8:30は3名、8:30-11:45は2

『スウェーデンと日本における認知症グループホームの勤務スケジュール……』(後半)

表 18 A グループホームの勤務パターン (第3週)

	月	火	水	木	金	土	日
あ		8:00-17:00	11:45-20:45	14:30-24:00	0:00-8:30		
い	11:45-20:45	14:30-24:00	0:00-8:30			8:00-17:00	11:45-20:45
う	8:00-17:00	8:00-17:00		8:00-17:00	11:45-20:45	14:30-24:00	0:00-8:30
え			8:00-17:00	8:00-17:00	8:00-17:00	8:00-17:00	
お		16:00-20:45	16:00-20:45				
か		8:00-17:00		7:00-12:00	16:00-20:45		8:00-17:00
き	7:00-12:00					7:00-12:00	7:00-12:00
く		7:00-12:00	7:00-12:00	16:00-20:45	7:00-12:00	16:00-20:45	
け	16:00-20:45						16:00-20:45

(資料出所) (出典) いずれも表 16 と同じ

表 19 A グループホームの勤務パターン (第4週)

	月	火	水	木	金	土	日
あ	8:00-17:00	11:45-20:45	14:30-24:00	0:00-8:30			8:00-17:00
い	8:00-17:00		8:00-17:00		14:30-24:00	0:00-8:30	
う		8:00-17:00	8:00-17:00	8:00-17:00		11:45-20:45	14:30-24:00
え	14:30-24:00	0:00-8:30		11:45-20:45	8:00-17:00		
お		16:00-20:45	16:00-20:45		8:00-17:00	8:00-17:00	
か				7:00-12:00	16:00-20:45		8:00-17:00
き	7:00-12:00					7:00-12:00	7:00-12:00
く		7:00-12:00	7:00-12:00	16:00-20:45	7:00-12:00	16:00-20:45	
け	16:00-20:45						16:00-20:45

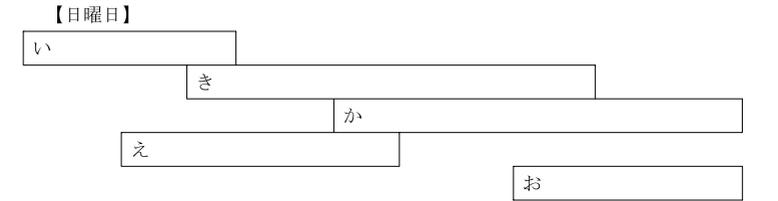
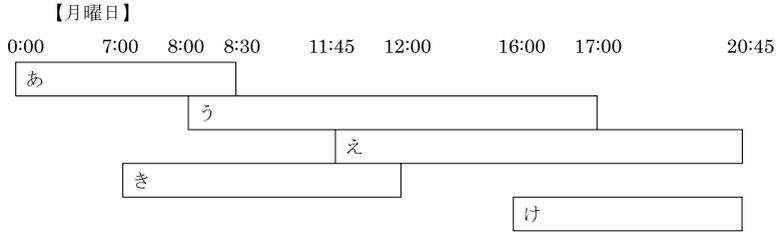
(資料出所) (出典) いずれも表 16 と同じ

表 20 A グループホームにおける週ごとの勤務時間 (単位) 時間:分

	第1週	第2週	第3週	第4週	合計 時間	フルタイム 換算 (%)
あ	31:30	24	32	40	127:30	79.7
い	40	32	40	32	144	90
う	32	40	48	40:30	160:30	100.3
え	40	40:30	32	32	144:30	90.3
お	30:15	28:45	9:30	25:30	94	58.8
か	17:45	25:45	25:45	17:45	87	54.4
き	15	15	15	15	60	37.5
く	24:30	24:30	24:30	24:30	98	61.3
け	4:45	14:15	9:30	9:30	38	23.8

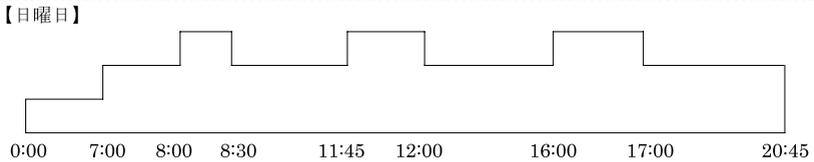
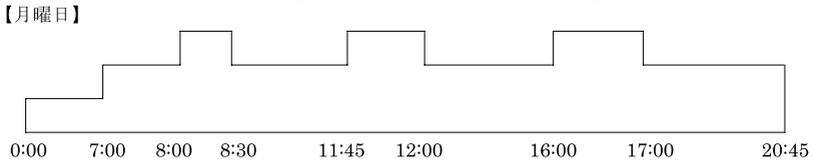
(資料出所) (出典) いずれも表 16 と同じ (注) 休憩時間除く

図13 第1週における介護スタッフの勤務状況



(資料出所) (出典) いずれも表 16 と同じ

図14 第1週における介護スタッフの人数変化



(資料出所) (出典) いずれも表 16 と同じ

名、11:45-12:00 は 3 名、12:00-16:00 は 2 名、16:00-17:00 は 3 名、17:00-20:45 は 2 名、20:45-24:00 は夜間専門スタッフ 1 名ともう一つのグループホームスタッフ 1 名の合わせて 2 名となっている。朝、昼、夕方と交代の時期に 30 分から 60 分重なってはいるが、基本的には、いずれの時間帯も 2 名体制であることが分かる。同じく図 14 が示すように、第 1 週の日曜日については、0:00-7:00 は 1 名、7:00-8:00 は 2 名、8:00-8:30 は 3 名、

8:30-11:45 は 2 名、11:45-12:00 は 3 名、12:00-16:00 は 2 名、16:00-17:00 は 3 名、17:00-20:45 は 2 名という体制である。日曜日についても、平日と全く同様の勤務スケジュールを実施している点がこのグループホームの大きな特徴である。

(2) B グループホームの場合

表 21 から表 24 は、山陽地方にある B グループホーム (2001 年開設、平均介護度 3.7) の 2003 年 12 月 (4 週間分) の勤務スケジュールである。表 21 は第 1 週、表 22 は第 2 週、表 23 は第 3 週、表 24 は第 4 週の勤務パターンを示している。このグループホームはユニットが一つであり、専任介護スタッフは全部で 12 名 (こ～な)、入居者は 9 名 (女性 8 名、男性 1 名である)。居室はほとんどが和室であるが、居室の広さは異なっている。10 畳が 1 つ (夫婦用)、8 畳が 2 つ、6 畳が 3 つ、4.5 畳が 2 つである。専任スタッフ 12 名のうち、介護福祉士の有資格者 1 名、准看護師 1 名、ホームヘルパー 1 級 1 名、ホームヘルパー 2 級 9 名である。

表 25 は、12 名の介護スタッフの週あたり勤務時間を一覧できる形で示したものである。スウェーデンのグループホームで頻繁に見られた「ジェットコースター・シフト」は、この B グループホームで若干確認できるのみである。すなわち、介護スタッフ「そ」について、第 1 週の 32 時間から第 2 週の 16 時間への激減、介護スタッフ「た」について、第 1 週の 16 時間から第 3 週の 45 時間への激増が見られるのみである。加えて、介護スタッフ「し」については、毎週水曜から木曜にかけて、および金曜から土曜にかけて夜間勤務が入っている。認知症高齢者への介護にフルタイム以上の時間従事し、宿直を連続して行なうことは問題であると言えよう。ただし、当該グループホームの管理者によれば、本人の希望により夜勤を多く勤務シフトに入れており、主体的選択としての勤務なので問題ないとのことである。フルタイム換算で 100% を超えるのは、12 人中 2 名にと

表21 Bグループホームの勤務パターン (第1週)

	月	火	水	木	金	土	日
こ		9:30-18:30	9:30-18:30		9:30-18:30	16:00-24:00	0:00-10:00
さ		10:30-19:30	10:30-19:30	16:00-24:00	0:00-10:00		9:30-18:30
し	0:00-10:00		16:00-24:00	0:00-10:00	16:00-24:00	0:00-10:00	16:00-24:00
す	9:30-18:30			9:30-18:30		9:30-18:30	
せ	10:30-19:30			10:30-19:30	10:30-19:30		
そ			7:00-16:00		7:00-16:00	7:00-16:00	7:00-16:00
た		7:00-16:00		7:00-16:00			
ち	7:00-16:00		16:00-24:00	0:00-10:00			
つ	16:00-24:00	0:00-10:00					
て		16:00-24:00	0:00-10:00				
と						10:30-19:30	10:30-19:30
な	10:00-14:00	10:00-14:00			10:00-14:00		

(資料出所) Bグループホーム内部資料 (出典) 筆者作成

表22 Bグループホームの勤務パターン (第2週)

	月	火	水	木	金	土	日
こ		9:30-18:30	9:30-18:30		9:30-18:30	9:30-18:30	10:00-15:00
さ	10:30-19:30	10:30-19:30		10:30-19:30		10:30-19:30	16:00-24:00
し	0:00-10:00		16:00-24:00	0:00-10:00	16:00-24:00	0:00-10:00	10:00-15:00
す	9:30-18:30			9:30-18:30			9:30-18:30
せ			10:30-19:30		10:30-19:30		10:30-19:30
そ				7:00-16:00			7:00-16:00
た	7:00-16:00	7:00-16:00	7:00-16:00		7:00-16:00	7:00-16:00	10:00-15:00
ち				16:00-24:00	0:00-10:00		
つ	16:00-24:00	0:00-10:00					
て		16:00-24:00	0:00-10:00				
と						10:30-19:30	
な		10:00-14:00			10:00-14:00		

(資料出所) (出典) いずれも表21と同じ

どまっている(スタッフ「し」を含む、フルタイム占有率は16.7%)。このBグループホームにおいては、スウェーデン同様、フルタイムのケアワーカーは少ない。12人中常勤職は4名で、8名がパートタイマーである。

図15は、4週間の勤務スケジュールのうちから第2週を選び、平日の中から選んだ火曜日と週末の土曜日について、介護スタッフの人数が時間の経過によってどのように変化するかを図示したものである(図中のひ

表 23 B グループホームの勤務パターン (第 3 週)

	月	火	水	木	金	土	日
こ		9:30-18:30	9:30-18:30		9:30-18:30	16:00-24:00	0:00-10:00
さ	0:00-10:00		10:30-19:30	10:30-19:30		9:30-18:30	9:30-18:30
し			16:00-24:00	0:00-10:00	16:00-24:00	0:00-10:00	16:00-24:00
す	9:30-18:30			9:30-18:30			
せ	10:30-19:30	10:30-19:30			10:30-19:30		
そ		7:00-16:00	7:00-16:00			7:00-16:00	
た	7:00-16:00			7:00-16:00	7:00-16:00		7:00-16:00
ち				16:00-24:00	0:00-10:00		
つ	16:00-24:00	0:00-10:00					
て		16:00-24:00	0:00-10:00				
と						10:30-19:30	10:30-19:30
な		10:00-14:00			10:00-14:00		

(資料出所) (出典) いずれも表 21 と同じ

表 24 B グループホームの勤務パターン (第 4 週)

	月	火	水	木	金	土	日
こ		9:30-18:30	9:30-18:30		9:30-18:30	16:00-24:00	0:00-10:00
さ		10:30-19:30		9:30-18:30	10:30-19:30	9:30-18:30	9:30-18:30
し	0:00-10:00		16:00-24:00	0:00-10:00	16:00-24:00	0:00-10:00	16:00-24:00
す	9:30-18:30						
せ	10:30-19:30			10:30-19:30			10:30-19:30
そ	7:00-16:00			7:00-16:00			7:00-16:00
た		7:00-16:00	7:00-16:00		7:00-16:00	7:00-16:00	
ち				16:00-24:00	0:00-10:00		
つ	16:00-24:00	0:00-10:00					
て		16:00-24:00	0:00-10:00				
と						10:30-19:30	
な		10:00-14:00			10:00-14:00		

(資料出所) (出典) いずれも表 21 と同じ

らがなは表 21 の介護スタッフの仮名に対応)。この図から、時間帯により介護スタッフの数が明らかに変化していることが確認できる。具体的には、図 16 が示すように、第 2 週の火曜日においては、0:00-7:00 は 1 名、7:00-9:30 は 2 名、9:30-10:30 は 3 名、10:30-14:00 は 4 名、14:00-18:30 は 3 名、18:30-19:30 は 2 名、19:30-24:00 は 1 名となっている。9:30 から 18:30

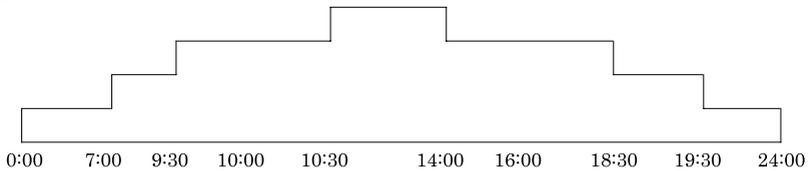
表25 Bグループホームにおける週ごとの勤務時間 単位：時間

	第1週	第2週	第3週	第4週	合計時間	フルタイム換算 (%)
こ	40	37	40	40	157	98.1
さ	40	40	40	40	160	100
し	48	45	40	48	181	113.1
す	24	24	18	8	74	46.2
せ	24	24	24	24	96	68.5
そ	32	16	24	24	96	68.5
た	16	45	32	32	125	78.1
ち	24	16	16	16	72	45
つ	16	16	16	16	64	40
て	16	16	16	16	64	40
と	16	8	16	8	48	30
な	12	8	8	8	36	22.5

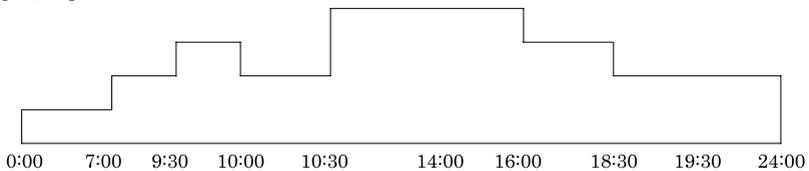
(資料出所) (出典) いずれも表21と同じ (注) 休憩時間除く

図15 第2週における介護スタッフの勤務状況

【火曜日】



【土曜日】

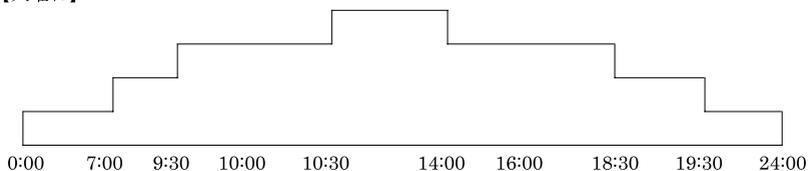


(資料出所) (出典) いずれも表21と同じ

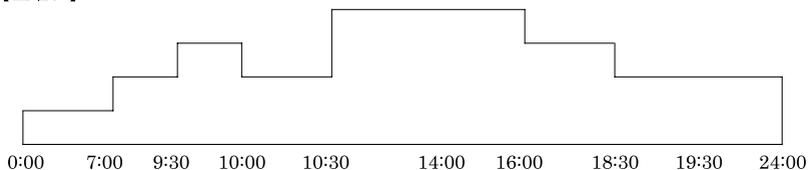
まで、3名ないし4名の体制で介護が行なわれており、極めて手厚い体制でケアが実践されていることが分かる。他方、第2週の土曜日においては、同じく図16が示すように、0:00-7:00は1名、7:00-9:30は2名、9:30-10:00は3名、10:00-10:30は2名、10:30-16:00は4名、16:00-18:30は3名、18:30-24:00は2名となっている。10:30から16:00までは4名の体制で介

図 16 第 2 週における介護スタッフの人数変化

【火曜日】



【土曜日】



(資料出所) (出典) いずれも表 21 と同じ

護が行なわれており、週末についても手厚い体制でケアが実践されていることが分かる。

表 21 から表 24 を一瞥して分かるように、介護スタッフ「そ」「た」の勤務パターンについては、7:00-16:00 の「早出」が集中している。これは、グループホーム立ち上げ時に勤務時間帯を指定して求人をしたためとのことである。9:30-18:30 の「日勤」と 10:30-19:30 の「遅出」については、機械的な振り分けが行われている。グループホームはケア労働としては負荷がかかる一方で、入居している認知症高齢者の存在全体にかかわるという意味では介護スタッフの働き甲斐や職業満足度を高める、その認知症高齢者に優しいケア実践の形態であると言える。

すでに指摘されていることであるが、大きな問題点としては給与水準の低さが指摘できよう。管理者を含め常勤職員は 20 万円前後という低水準にとどまっている。介護保険制下における特定入所者施設としての介護報酬が低水準であるために、結果として人件費も低く抑えられていると言えよう。

この B グループホームでは、管理者自身、夜勤 (16:00-翌日 10:00) を

表26 Cグループホームの勤務パターン (第1週)

	月	火	水	木	金	土	日
に	0:00-10:00		12:00-21:00	9:00-18:00	12:00-21:00		16:45-24:00
ぬ		16:45-24:00	0:00-10:00		7:00-16:00	12:00-21:00	
ね	16:45-24:00	0:00-10:00		12:00-21:00		16:45-24:00	0:00-10:00
の		7:00-16:00	7:00-16:00	7:00-16:00		7:00-16:00	7:00-16:00
は	7:00-16:00		9:00-18:00				9:00-18:00
ひ	9:00-18:00	9:00-18:00			9:00-18:00		
ふ	12:00-21:00						12:00-21:00
へ		12:00-21:00				9:00-18:00	

(資料出所) Cグループホーム内部資料 (出典) 筆者作成

表27 Cグループホームの勤務パターン (第2週)

	月	火	水	木	金	土	日
に	0:00-10:00		12:00-21:00	16:45-24:00	0:00-10:00		7:00-16:00
ぬ		16:45-24:00	0:00-10:00				12:00-21:00
ね		9:00-18:00	16:45-24:00	0:00-10:00		7:00-16:00	16:45-24:00
の	9:00-18:00	7:00-16:00		7:00-16:00	12:00-21:00	9:00-18:00	
は			7:00-16:00		7:00-16:00		
ひ				9:00-18:00	9:00-18:00		
ふ	7:00-16:00		9:00-18:00				
へ		12:00-21:00				12:00-21:00	

(資料出所) (出典) いずれも表26と同じ

含めたシフトに入っており、現場の介護スタッフの介護の実情を理解した上で円滑な人間関係の維持に努めている。管理者が介護スタッフと全く同様のシフトに入る事自体珍しいケースである。

(3) Cグループホームの場合

表26から表29は、東海地方にあるCグループホーム(2000年開設、平均介護度2.8)の2003年12月(4週間分)の勤務パターンである。Cグループホームには2つのユニットがあるが、この勤務スケジュールは、そのうちの1つのものである。表26は第1週、表27は第2週、表28は第3週、表29は第4週の勤務パターンを示している。このグループホームの専任介護スタッフは全部で8名(に～へ)、入居者は9名である(居

表 28 C グループホームの勤務パターン (第3週)

	月	火	水	木	金	土	日
に	12:00-21:00		12:00-21:00	16:45-24:00	0:00-10:00		12:00-21:00
ぬ	16:45-24:00	0:00-10:00		7:00-16:00	7:00-16:00	12:00-21:00	16:45-24:00
ね	0:00-10:00		7:00-16:00			16:45-24:00	0:00-10:00
の		7:00-16:00		9:00-18:00	12:00-21:00	7:00-16:00	
は	7:00-16:00		9:00-18:00				9:00-18:00
ひ	9:00-18:00	9:00-18:00			9:00-18:00		
ふ		12:00-21:00				9:00-18:00	
へ				12:00-21:00			7:00-16:00

(資料出所) (出典) いずれも表 26 と同じ

表 29 C グループホームの勤務パターン (第4週)

	月	火	水	木	金	土	日
に	12:00-21:00	12:00-21:00		16:45-24:00	0:00-10:00		12:00-21:00
ぬ	0:00-10:00		16:45-24:00	0:00-10:00		12:00-21:00	16:45-24:00
ね		7:00-16:00		7:00-16:00		9:00-18:00	7:00-16:00
の	7:00-16:00		7:00-16:00		7:00-16:00	7:00-16:00	9:00-18:00
は	9:00-18:00		9:00-18:00				
ひ		9:00-18:00		9:00-18:00	9:00-18:00		
ふ			12:00-21:00				
へ				12:00-21:00	12:00-21:00		

(資料出所) (出典) いずれも表 26 と同じ

表 30 C グループホームにおける週ごとの勤務時間 (単位) 時間 : 分

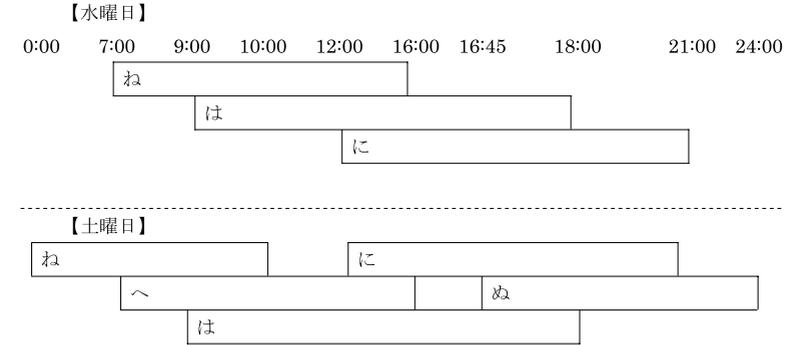
	第1週	第2週	第3週	第4週	合計時間	フルタイム 換算 (%)
に	40:15	41:15	40:15	40:15	162	101.3
ぬ	32:15	24:15	47:30	40:30	144:30	90.3
ね	40:30	39:30	33:15	32	145:15	90.8
の	40	40	32	40	152	95.0
は	24	16	24	16	80	50.0
ひ	24	16	24	24	88	55.0
ふ	16	16	16	8	56	35.0
へ	16	16	16	16	64	40.0

(資料出所) (出典) いずれも表 26 と同じ (注) 休憩時間を除く

室の広さは和室 6 畳である)。専任スタッフ 8 名のうち、介護福祉士 1 名、社会福祉士 2 名、ホームヘルパー 2 級 5 名である。

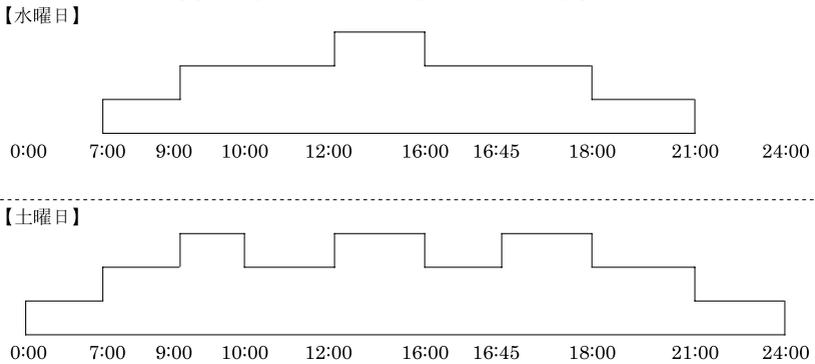
表 30 は、8 名の介護スタッフの週あたり勤務時間を一覧できる形で示

図17 第3週における介護スタッフの勤務状況



(資料出所) (出典) いずれも表 26 と同じ

図18 第3週における介護スタッフの人数変化



(資料出所) (出典) いずれも表 26 と同じ

したものである。スウェーデンのグループホームで頻繁に見られた「ジェットコースター・シフト」は、このCグループホームで1ケースが確認できるのみである。すなわち、介護スタッフ「ぬ」について、第2週の24時間15分から第3週の47時間30分への激増が見られる。なお、フルタイム換算で100%を超えるのは、8人中1名にとどまっている。

図17は、4週間の勤務パターンのうちから第3週を選び、平日の中から選んだ水曜日と週末の日曜日について、介護スタッフの人数が時間の経過によってどのように変化するかを図示したものである（図中のひらが

なは表 28 の介護スタッフの仮名に対応)。この図および図 18 から、第 3 週水曜日については 7:00-9:00 が 1 名、9:00-12:00 が 2 名、12:00-16:00 が 3 名、16:00-18:00 が 2 名、18:00-21:00 が 1 名というシフトで介護が行なわれており、A グループホームや B グループホームに比べるとケアスタッフがやや少ないことが分かる。図 18 から分かるように、第 3 週の土曜日は、0:00-7:00 が 1 名、7:00-9:00 が 2 名、9:00-10:00 が 3 名、10:00-12:00 が 2 名、12:00-16:00 が 3 名となっている。また、16:00-16:45 が 2 名、16:45-18:00 が 3 名、18:00-21:00 が 2 名、21:00-24:00 が 1 名という体制である。

(4) D グループホームの場合

表 31 から表 34 は、東海地方にある D グループホーム（2002 年 7 月開設、平均介護度 3.1）の 2005 年 1 月（4 週間分）の勤務スケジュールである。D グループホームは 1 ユニットであり、入居者は 9 名（各居室の広さは和室 6 畳）である。表 31 は第 1 週、表 32 は第 2 週、表 33 は第 3 週、表 34 は第 4 週の勤務パターンを示している。このグループホームの専任介護スタッフは全部で 6 名（ほ～も）、パート職員 2 名（や、ゆ）である。

表 35 は、8 名の介護スタッフの週あたり勤務時間を一覧できる形で示したものである。スウェーデンのグループホームで頻繁に見られた「ジェットコースター・シフト」は、この D グループホームにおいて緩やかな増減のシフトが 2 ケース程度見られるのみである。すなわち、介護スタッフ「ほ」について、第 3 週の 33 時間から第 4 週の 49 時間への緩やかな増加が、介護スタッフ「む」について、第 1 週の 33 時間から第 2 週の 50 時間への緩やかな増加がそれぞれ見られる。

図 19 は、4 週間の勤務スケジュールのうち最後の第 4 週を選び、平日の中から選んだ木曜日と土曜日について、介護スタッフの人数が時間の経過によってどのように変化するかを図示したものである（図中のひらがなは表 31 の介護スタッフの仮名に対応）。この図および図 20 から、第 4

表31 Dグループホームの勤務パターン (第1週)

	月	火	水	木	金	土	日
ほ			9:00-18:00	9:00-18:00	10:00-19:00	16:00-24:00	0:00-11:00
ま	0:00-11:00		9:00-18:00	10:00-19:00	16:00-24:00	0:00-11:00	
み	9:00-18:00	10:00-19:00	16:00-24:00	0:00-11:00			9:00-18:00
む		9:00-18:00	10:00-19:00	16:00-24:00	0:00-11:00		
め	16:00-24:00	0:00-11:00			7:30-16:30	10:00-19:00	16:00-24:00
も	10:00-19:00	16:00-24:00	0:00-11:00			9:00-18:00	10:00-19:00
や	10:00-16:00					10:00-16:00	
ゆ		13:00-17:00		13:00-17:00			

(資料出所) Dグループホーム内部資料 (出典) 筆者作成

表32 Dグループホームの勤務パターン (第2週)

	月	火	水	木	金	土	日
ほ		9:00-18:00	10:00-19:00	16:00-24:00	0:00-11:00		9:00-18:00
ま	10:00-19:00		9:00-18:00		7:30-16:30		9:00-18:00
み		16:00-24:00	0:00-11:00		10:00-19:00	10:00-19:00	16:00-24:00
む	9:00-18:00	10:00-19:00	16:00-24:00	0:00-11:00		16:00-24:00	0:00-11:00
め	0:00-11:00		9:00-18:00	9:00-18:00		9:00-18:00	10:00-19:00
も	16:00-24:00	0:00-11:00		10:00-19:00	16:00-24:00	0:00-11:00	
や						10:00-16:00	
ゆ		13:00-17:00		13:00-17:00			

(資料出所) (出典) いずれも表31と同じ

表33 Dグループホームの勤務パターン (第3週)

	月	火	水	木	金	土	日
ほ	10:00-19:00	16:00-24:00	0:00-11:00		9:00-18:00		
ま	9:00-18:00	10:00-19:00	16:00-24:00	0:00-11:00		10:00-19:00	16:00-24:00
み	0:00-11:00		9:00-18:00	10:00-19:00	16:00-24:00	0:00-11:00	
む		9:00-18:00	10:00-19:00		7:30-16:30	9:00-18:00	10:00-19:00
め	16:00-24:00	0:00-11:00		16:00-24:00	0:00-11:00		9:00-18:00
も	9:00-18:00	9:00-18:00		9:00-18:00	10:00-19:00	16:00-24:00	0:00-11:00
や			10:00-16:00				
ゆ				13:00-17:00			

(資料出所) (出典) いずれも表31と同じ

週木曜日については 0:00-9:00 が1名、9:00-10:00 が3名、10:00-11:00 が4名、11:00-16:00 が3名、16:00-18:00 が4名、18:00-19:00 が2名、19:00-24:00 が1名というシフトで介護が行なわれており、AからCのグ

表 34 D グループホームの勤務パターン (第 4 週)

	月	火	水	木	金	土	日
ほ	9:00-18:00	10:00-19:00	16:00-24:00	0:00-11:00		10:00-19:00	9:00-18:00
ま	0:00-11:00		10:00-19:00	16:00-24:00	0:00-11:00		
み		9:00-18:00		9:00-18:00	10:00-19:00	9:00-18:00	16:00-24:00
む	16:00-24:00	0:00-11:00		9:00-18:00		9:00-18:00	10:00-19:00
め	10:00-19:00		9:00-18:00	10:00-19:00	16:00-24:00	0:00-11:00	
も		16:00-24:00	0:00-11:00		7:30-16:30	16:00-24:00	0:00-11:00
や			10:00-16:00				
ゆ		13:00-17:00			13:00-17:00		

(資料出所) (出典) いずれも表 31 と同じ

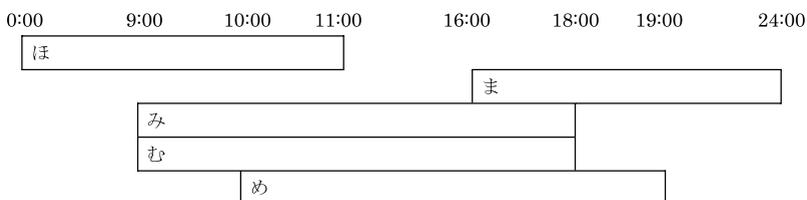
表 35 D グループホームにおける週ごとの勤務時間 単位:時間

	第 1 週	第 2 週	第 3 週	第 4 週	合計時間	フルタイム 換算 (%)
ほ	41	41	33	49	164	102.5
ま	43	32	48	35	158	98.8
み	41	40	43	39	163	101.9
む	33	50	40	41	164	102.5
め	40	42	42	41	165	103.1
も	41	42	49	42	174	108.8
や	12	6	6	6	30	18.8
ゆ	8	8	4	8	28	17.5

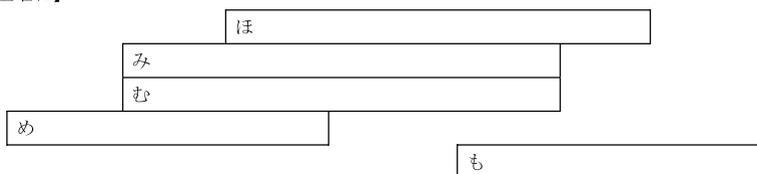
(資料出所) (出典) いずれも表 31 と同じ (注) 休憩時間を除く

図 19 第 4 週における介護スタッフの勤務状況

【木曜日】



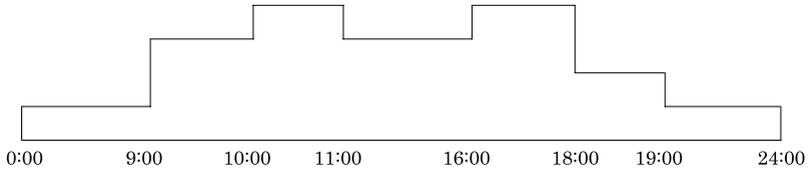
【土曜日】



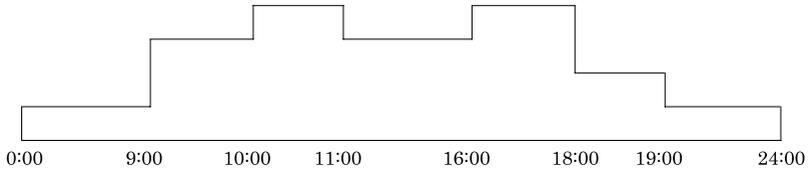
(資料出所) (出典) いずれも表 31 と同じ

図20 第4週における介護スタッフの人数変化

【木曜日】



【土曜日】



(資料出所) (出典) いずれも表 31 と同じ

グループホームに比べるとケアスタッフが多いことが分かる。

同じく、図19・図20から分かるように、第4週の土曜日の場合、0:00-9:00が1名、9:00-10:00が3名、10:00-11:00が4名、11:00-16:00が3名、16:00-18:00が4名、18:00-19:00が2名、19:00-24:00が1名というシフトで介護が行なわれており、AからCのグループホームに比べるとケアスタッフが多い。このDグループホームについては、平日も週末も全く同一の人数変化のシフトが採用されており、ケアの時間的継続性という点で最も理想的な勤務スケジュールが展開されていることが分かる。

5. スウェーデンと日本の日勤スケジュールに関する比較分析

グループホームにおける夜間勤務のシステムは、スウェーデンと日本で著しく異なっている。具体的には、スウェーデンでは3つ程度のユニット(1ユニット10名前後の入居者)を夜勤専門の介護スタッフ3名が巡回するパターンが多い。一方、日本では1グループホームで2ユニット(1ユニット9名、合計18名)まで、1人の夜勤スタッフ(専任ではなくロー

表 36 入居者一人あたりの1日平均ケア時間 単位：分、() 内ケアサービス享受%

	Lillaråda コミュニティ 運営	Annehill コミュニティ 運営	Betaren コミュニティ 運営	Lunden コミュニティ 運営	Mogården コミュニティ 運営	平均
平日	225 (28.8)	261 (33.5)	242 (31.0)	253 (32.4)	274 (35.1)	251 (32.2)
土日	188 (24.1)	194 (24.9)	191 (24.5)	233 (29.9)	221 (28.3)	205 (26.3)

(注) 休憩時間含む

表 37 入居者一人あたりの1日平均ケア時間 単位：分、() 内ケアサービス享受%

	Aグループ ホーム 社会福祉法人	Bグループ ホーム NPO法人	Cグループ ホーム 株式会社	Dグループ ホーム 株式会社	Eグループ ホーム 医療法人	平均
平日	185 (23.7)	253 (32.4)	173 (22.2)	233 (29.9)	187 (24.0)	206 (26.4)
土日	185 (23.7)	267 (34.2)	215 (27.6)	233 (29.9)	187 (24.0)	217 (27.8)

(注) 休憩時間含む

ーションで担当) が勤務する。

この相違を踏まえて、ここでは7時から20時に限定した上で、日勤時間帯の勤務スケジュールを両国で比較分析する。表36は、スウェーデンにおける5つのグループホームの勤務スケジュールにつき、この条件のもとで、認知症の入居者が介護スタッフからどれほどケアを受けているかについて、平日と週末の土日について算出した結果を示したものである。スウェーデンの5つのグループホームでは、7時から20時までの13時間(780分)のうち、平日のうちランダムに選ばれた1日につき平均して225分から274分(平均は251分)、土日のどちらかについては188分から233分(平均は205分)、入居者はケアサービスを受けている計算になる。グループホームにより格差が見られ、平日について最も時間が長いのはMogårdenの274分、逆に最も短いのがLillarådaの225分である。土日について最も時間が長いのはLundenの233分であり、最も短いのがLillarådaの188分である。

同様に、表37は、日本における5つのグループホームの勤務スケジュー

ールにつき、上記条件のもとで、認知症の入居者が介護スタッフからどれほどの時間ケアを受けているかについて、平日と土日について算出した結果を示したものである。なお、Eグループホームについては、都合により勤務スケジュール、勤務状況、人数変化等のデータを割愛した。日本の5つのグループホームでは、7時から20時までの13時間（780分）のうち、平日のうちランダムに選ばれた1日につき173分から253分（平均は206分）、土日のどちらかについては185分から267分（平均は217分）、入居者はケアサービスを受けている。スウェーデン同様、グループホームにより格差が見られ、平日について最も時間が長いのはBユニット（NPO法人）の253分であり、逆に最も短いのがCユニット（株式会社）の173分である。土日については、最も時間が長いのは同じくBユニットの267分であり、最も短いのがAユニット（社会福祉法人）の185分である。

平日については、スウェーデンの方が日本よりも平均ケア時間が45分長くなっており手厚いケアが行われていることが確認できた。土日については、逆に日本の方がスウェーデンに比べて12分長くなっていることが明らかとなった。

本研究は事例分析なので一般化することに慎重でなければならないが、本研究で確認できたことはスウェーデンのグループホームの方が、平日の平均ケア時間が著しく長いことである。日本のグループホームの場合は平日のケア時間がスウェーデンよりもかなり少なく、介護スタッフの人数および介護従事時間に課題が残されていることが示された。土日に関しては、日本の方がスウェーデンよりもケア時間が長いことが明らかになった。加えて、日本の方が平日と週末の平均ケア状況間の差が少ないことから、スウェーデンに比べて時間的継続性という点では望ましいと言えよう。

6. 結論と今後の課題

前号の第10号では、「スウェーデンと日本における認知症グループホームの勤務スケジュールに関する実証的研究(前半)」というテーマのもと、スウェーデンのグループホーム5か所を分析検討した。今回の第11号では、同じく「スウェーデンと日本における認知症グループホームの勤務スケジュールに関する実証的研究(後半)」というテーマのもと、日本のグループホーム4か所を取り上げ、各ホームで働く介護スタッフの勤務スケジュールを詳細に分析した。

両国のグループホームを比較分析した結果、結論として示すことが出来るのは以下の4点である。①スウェーデンのグループホームにおける介護スタッフの勤務スケジュールについては、「ジェットコースター・シフト」と形容しうる激しい勤務時間の週間変動が確認できた。加えて土日における介護スタッフの数が少ないことが明らかになった。スウェーデンの社会サービスの重要な基本理念の一つが「継続性」である。スウェーデンのグループホームにおいて、「ジェットコースター・シフト」が広く一般的に存在することは、時間的継続性、人的継続性を阻害するものであり、社会環境の変化への適応力が脆弱な認知症高齢者を対象とするグループホームにおいて、最も深刻な問題を構造的に孕んでいると言える。②一方、日本のグループホームにおける介護スタッフの勤務スケジュールは、「ジェットコースター・シフト」の割合が皆無ではないもののスウェーデンに比べて著しく発生率が少ないことが明らかになった。また、週末における介護スタッフの人数が平日とほとんど変わらないことが、時間的継続性という点で、スウェーデンには見られない大きな特徴であることが明らかになった。③当該のグループホームに勤務する介護スタッフの実質人数と入居者の比率に関しては、殆ど差がないことを示すことができた。④夜間勤務に関しては、両国で構造的な相違があるので比較できない。そこで、日

勤時間帯で、入居している認知症高齢者一人あたりに投入されるケア時間を比較した結果、平日については日本の方がスウェーデンよりも短いこと、逆に週末の場合は、日本の方がスウェーデンよりも長いことが明らかになった。総じて、グループホームにおける勤務スケジュールのあり方に関する限り、日本は課題を一部残しているもののスウェーデンと同等かスウェーデン以上に望ましいスケジュールであると言えることができる。

本比較研究に関する今後の課題としては以下の3点が指摘できる。まず第1に、スウェーデンと日本のグループホームのさらなる協力を得て、勤務スケジュール等のデータを集め、今回と同様の方法論で分析を行い、事例データの偏りをなくすことである。

第2に、本稿で分析したグループホームにおける介護スタッフの勤務スケジュールの具体的な決定プロセス、すなわち勤務スケジュールがそれぞれのグループホームの介護スタッフによって主体的に選択されたものかどうかについて詳細に調査することが必要不可欠である。スウェーデンも日本も「相談」により勤務スケジュールが決められると言われている。現時点では相談の実態が不明であるので、「相談」に見られる権力性の内実について詳細に調査研究することが今後の課題である。

第3に、これが本研究に残された最も大きな課題であるが、次に行われるべきは、認知症グループホームで実践されている介護の方法、介護の質、介護現場の雰囲気にかかわる比較研究である。例えば、スウェーデンでは介護スタッフがTaktil Massage（タクティール マッサージ）という特別の技法を用いて、認知症高齢者をケアしている。この技法は、認知症高齢者のストレスを少なくする作用があるといわれている¹⁾。こうした技法を始めとして、具体的なケアの方法論をめぐる、スウェーデンと日本でどのような相違が確認できるのか実証的に研究することが必要不可欠である。

スウェーデンのグループホームを毎年のように視察して感じることは、ケアの現場の雰囲気がゆったりしていることである。介護スタッフの時間

『スウェーデンと日本における認知症グループホームの勤務スケジュール……』（後半）

的切迫感が全く見られず、ゆとりの中でケアが実践されている。一方、日本のグループホームは大規模な特別養護老人ホームのケアに比べればゆとりのあるケアがなされているが、スウェーデンのように介護スタッフがソファに座っている認知症高齢者に寄り添って腕や手をマッサージするというような光景はほとんど見られない。介護スタッフも入居者も常に「活動」している。何が、そのようなグループホームにおけるケアのあり方や雰囲気の違いをもたらしているのかについて実証的に分析検討することが必要不可欠な課題である。

註

- 1) 看護師シーヴ・アーデビーが高齢者、末期患者、機能障害者、児童、乳幼児などを対象に考案したマッサージ法。浸透しやすいオイルを使い皮膚に触れるようにゆっくりとマッサージすることにより、オキシトシンというホルモンの分泌を促し、このオキシトシンの効果によりリラックスすることができるとされている（小笠原祐次編『今、なぜ痴呆症にグループホームか』筒井書房 2002年 p. 73）。

引用参考文献

西下彰俊，2002，『スウェーデンにおける高齢者福祉サービスのコミュニケーション格差に関する実証的研究』（研究代表者 西下彰俊、平成12年～平成13年度科学研究費補助金（基盤研究（C）（2））研究成果報告書）

西下彰俊，2004，介護スタッフの勤務スケジュールに関するスウェーデンと日本の比較分析（その1），高齢者住宅財団『いい住まい いいシニアライフ』Vol. 59. pp. 55-62

西下彰俊，2004，スウェーデンと日本のグループホームにおける勤務スケジュー

ールの比較分析, 日本社会福祉学会 第 52 回大会 国際社会福祉②部会
配付資料

西下彰俊, 2005, スウェーデンと日本における認知症グループホームの勤務スケジュールに関する実証的研究 (前半), 東京経済大学 現代法学部『現代法学』第 10 号, pp.89-117

小笠原祐次編, 2002, 『今、なぜ痴呆症にグループホームか』 筒井書房

SCB, HP (http://wwwh.scb.se/kommunfacta/k_fraim.htm)

SCB, 2006, Statistisk Årsbok för Sverige 2006

[付記]

本稿は、2004 年度東京経済大学個人研究助成費『スウェーデンにおける高齢者ケアの構造的問題』(A04-18) の助成を受けて実施した研究の一部である。

なお、本稿第 4 節「日本のグループホームの勤務スケジュール」については、以下の文献と重なる部分がある。西下彰俊「介護スタッフの勤務スケジュールに関するスウェーデンと日本の比較分析 (その 2)」高齢者住宅財団『いい住まい いいシニアライフ』Vol. 61. 2004 pp. 54-60

